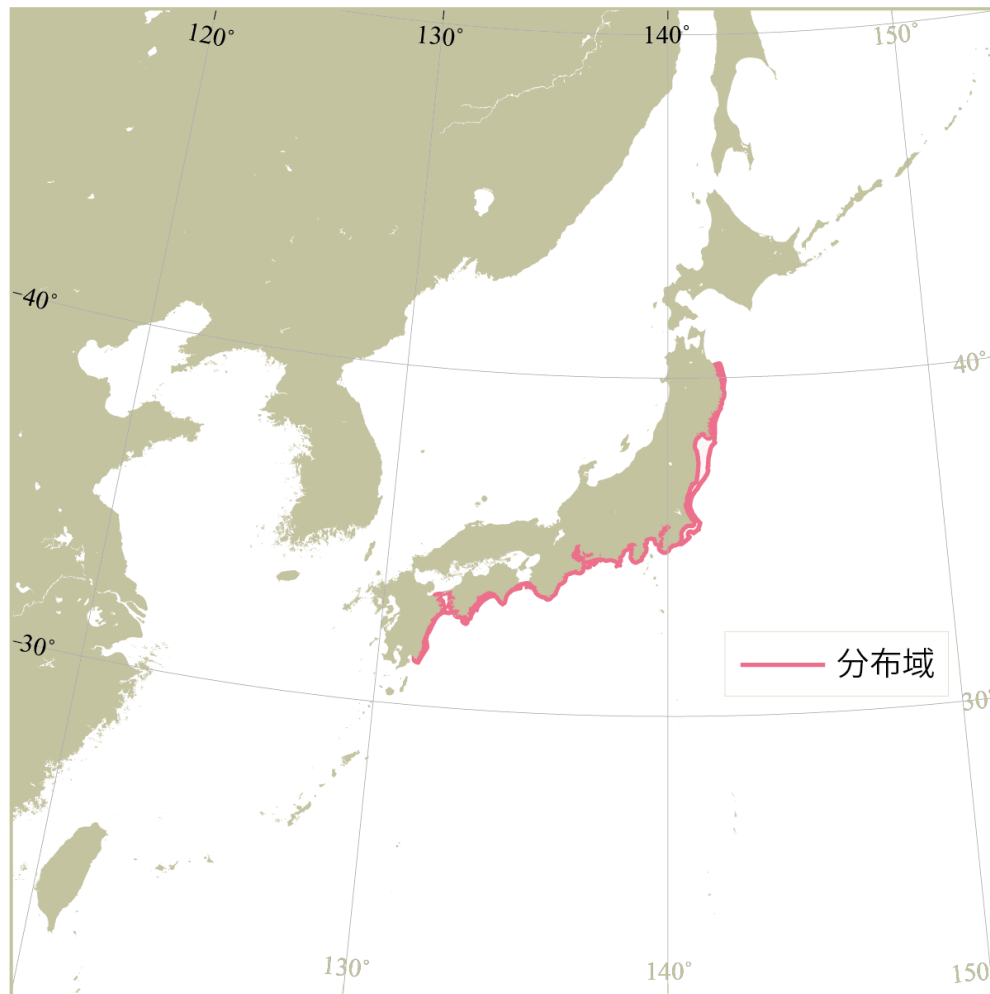




ヤリイカ太平洋系群 令和4年度資源評価結果

生物学的特性

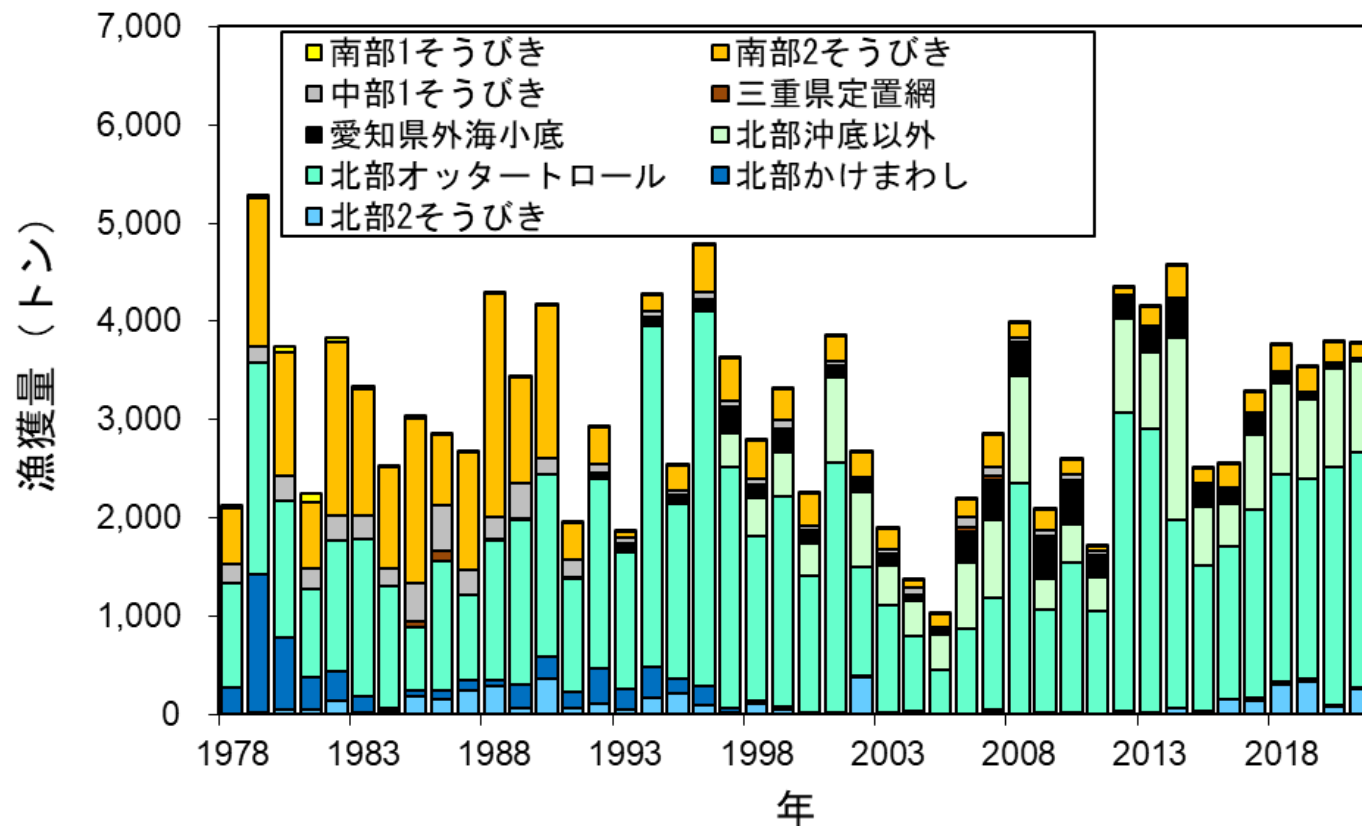


生物学的特性

- 寿命：1年
- 成熟開始年齢：約1歳
- 産卵期・産卵場：1～6月、九州～東北沿岸各地
- 食性：外套背長50mmまでは主にカイアシ類、60～150mmではカイアシ類、オキアミ類、アミ類、170mm前後からは魚類
- 捕食者：海産哺乳類、大型魚類等

- 北部（岩手県～千葉県）と中部・南部（静岡県以西の本州、四国および九州）で漁業の状況と資源の変動傾向は異なる

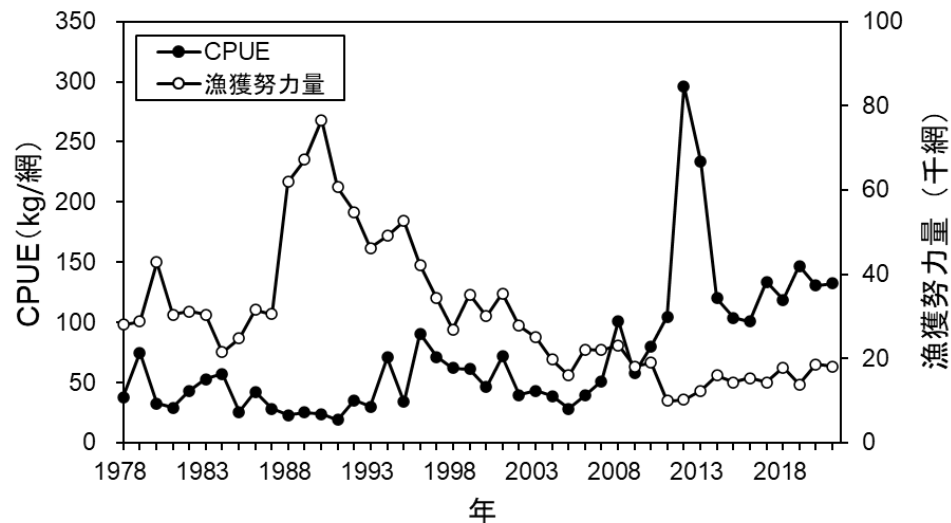
漁獲の動向①



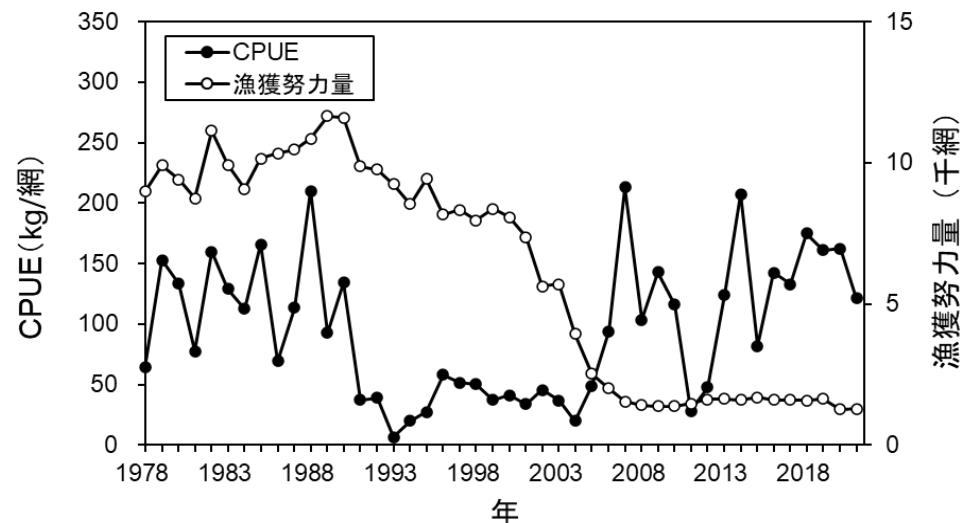
- 漁獲量は1990年代以降、北部（岩手県～千葉県）で増加、中部（静岡以西の本州）、南部（四国・九州）で減少
- 2012年以降は北部の漁獲量が全体の80～90%を占める
- 2021年の太平洋系群全体の漁獲量は3,782トン

漁獲の動向②

北部主漁法：オッタートロール



中部・南部主漁法：南部2そうびき

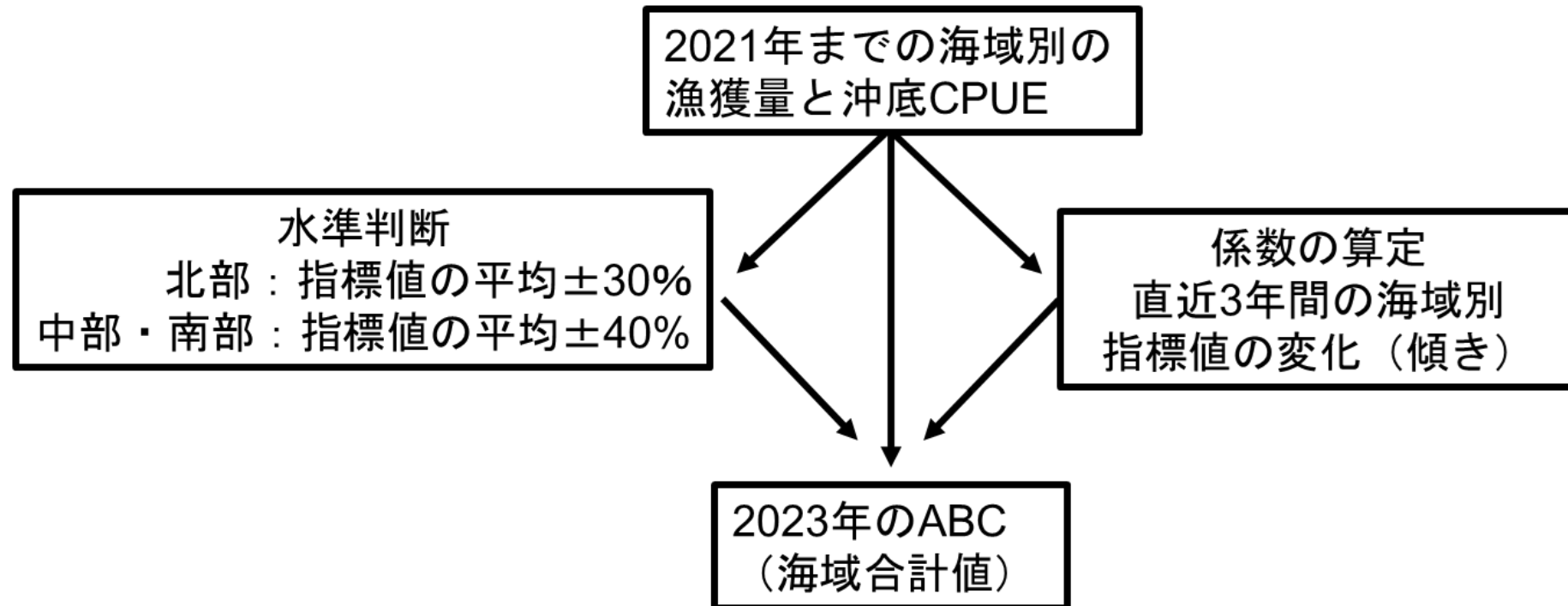


※CPUE：年間漁獲量／年間有漁網数

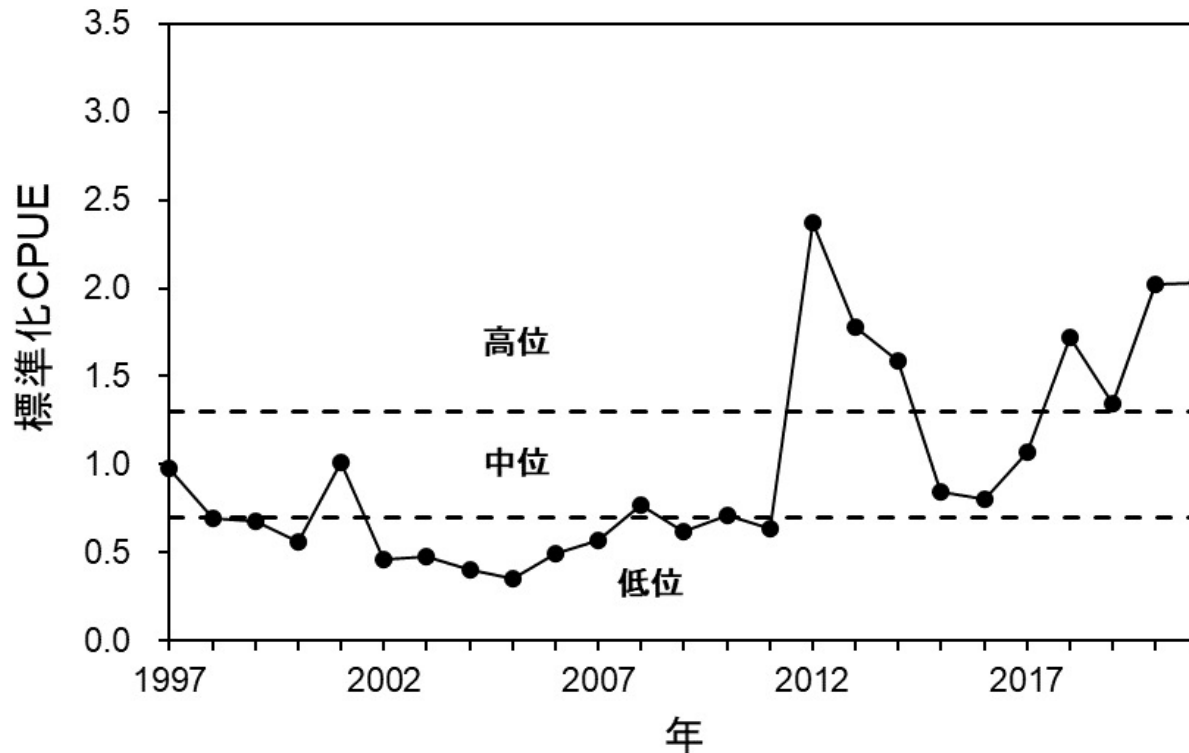
漁獲努力量：有漁網数(ヤリイカが漁獲された日の網数を集計したもの)

- 北部の主漁法：沖底のオッタートロール
1990年以降努力量減少
- 中部・南部の主漁法：南部の沖底2そうびき
着業隻数の減少に伴い2000年代に努力量が大きく減少

資源評価の流れ



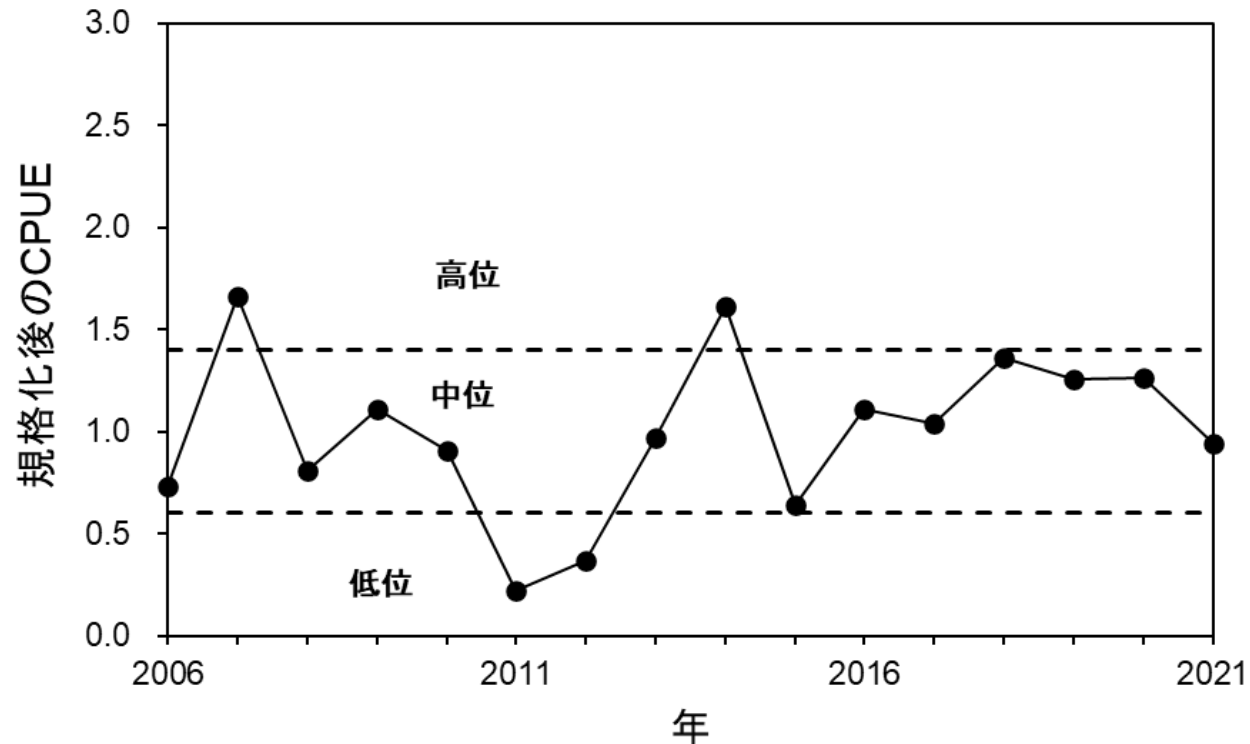
資源の動向①



※水準区分 低位／中位：1997年以降の標準化CPUE 平均比0.7倍
中位／高位：1997年以降の標準化CPUE 平均比1.3倍
(平均値が1となるよう規格化した標準化CPUEの値で水準判断)

- 北部はオッタートロールの標準化CPUEから判断
- 資源水準：2021年の標準化CPUEは平均比2.03倍で「高位」
- 資源動向：直近5年間（2017～2021年）の標準化CPUEの推移から「増加」

資源の動向②



※水準区分 低位／中位：2006年以降のCPUE 平均比0.6倍
中位／高位：2006年以降のCPUE 平均比1.4倍
(南部2そうびきのCPUEで水準判断)

- 中部・南部は南部2そうびきのCPUEから判断
- 資源水準：2021年のCPUEは平均比0.94倍で「中位」
- 資源動向：直近5年間（2017～2021年）のCPUEの推移から「横ばい」

資源評価のまとめ

- ヤリイカ太平洋系群全体の資源水準は高位、動向は増加
- 北部と中・南部で海域別に資源状態を判断し漁獲量比から北部を優先

2023年ABC

管理基準	Target/ Limit	2023年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値(現状のF値か らの増減%)
1.0・北部Cave3-yr・1.19 0.9・中部・南部Cave3-yr・0.86	Target	3,440	—	—
	Limit	4,300	—	—

- ABC算定規則の2-1)により、 $ABC_{limit} = \delta_1 \cdot Ct \cdot \gamma_1$ で計算
- δ_1 : 北部は1.0 (高位水準での標準値)、中部・南部は0.9 (中位水準での推奨値)
- Ct : Cave3-yr (2019~2021年の各海域漁獲量平均値)
- γ_1 : 1.19、0.86 (資源量指標値の直近3年間(2019~2021年)の動向から算定される係数)
- 系群のABCは海域ごとに算定したABCの合計値